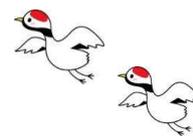


新型コロナウイルス感染症
発生時の対応手引き
高齢者施設向け



釧路保健所
令和6年1月

目次



1	はじめに.....	1
2	日頃から感染症発生時の対応までの流れ.....	3
3	感染症対策の基本.....	5
	(1) 平常時から実践する感染予防対策について.....	5
	ア 平常時の感染予防.....	5
	イ 職員の体調管理や感染対策のポイント.....	10
	ウ 面会について.....	11
	エ ワクチンについて.....	13
	(2) 毎日の利用者の健康チェック.....	14
	ア 利用者の健康チェックポイント.....	14
	イ 医療について.....	15
4	発生に備えての準備.....	16
	(1) 役割分担、指揮命令体制の決定と周知.....	16
	(2) 報告・連絡系統、情報共有方法の確認.....	17
	(3) 必要なPPE（個人用防護具）の発注・補充.....	18
	(4) 感染症対策の実践訓練や研修会の開催.....	18
	(5) 手順のリスト化〈発生時やることリスト〉の作成.....	18
5	発生時の対応.....	20
	(1) 施設内での情報共有.....	20
	(2) 防護具（PPE）の場面に応じた選択.....	20
	(3) 防護具の着脱.....	22
	(4) ゾーニングについて.....	24
	(5) トイレの使用について.....	26
	(6) 入浴について.....	27
	(7) 食器について.....	27
	(8) ゴミの処理について.....	28
	(9) 洗濯について.....	28
	(10) 消毒、清掃について.....	29
	(11) 集団活動の実施の工夫について.....	29
6	感染症が拡大したときの対応.....	30
	(1) ゾーニングの修正.....	30
	(2) 業務整理.....	31
7	新型コロナウイルス感染症に対する考え方.....	33
	(1) 療養期間の考え方.....	33
	(2) 検査について.....	34
	(3) 保健所への届け出の目安.....	35

1 はじめに

感染対策を効果的に実施するためには職員1人1人が必要な事項をよく理解し、実践することが重要です。また、感染拡大を防ぎ、重症化を予防するためには、早期に適切な対応と治療につなげることが望めます。

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症5類移行後の、各施設での取り組み実態を参考に、高齢者施設における対応手引きを作成しました。感染症対策の基本、発生時の対応、感染拡大時の対応など、施設の実状に合わせたマニュアル整備の一助となれば幸いです。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の背景

変異株の特性やワクチンの普及を受け、COVID-19の重症化率は以前に比べ非常に低くなっています。

このことにより、高齢者の中には、新型コロナウイルスによる肺炎悪化での入院、というより、隔離等で生じるADL低下や生活不活による病気を原因とした入院が増加し、新型コロナから回復した後も元の施設や自宅に帰れない方が多くなっています。

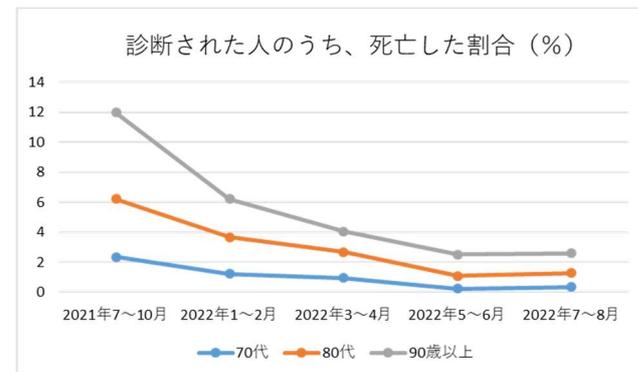
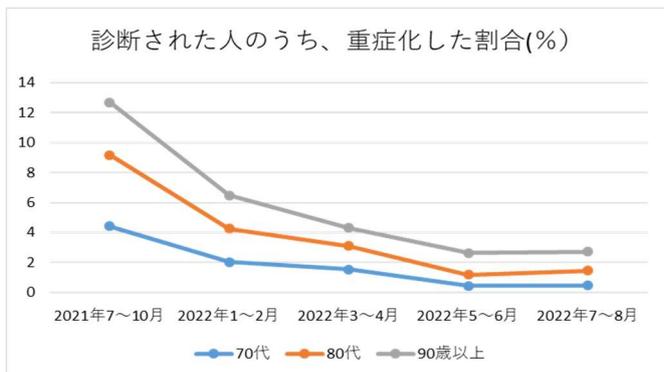


診断された人のうち、重症化した割合 (%)

年代 (歳)	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-
2021年7~10月	0.05	0.05	0.01	0.31	1.04	2.25	3.62	4.43	9.17	12.68
2022年1~2月	0.02	0.00	0.00	0.01	0.05	0.12	0.58	2.03	4.25	6.48
2022年3~4月	0.02	0.00	0.00	0.02	0.03	0.16	0.32	1.54	3.10	4.32
2022年5~6月	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.05	0.25	0.45	1.19	2.64
2022年7~8月	0.01	0.01	0.00	0.01	0.02	0.04	0.11	0.47	1.47	2.72

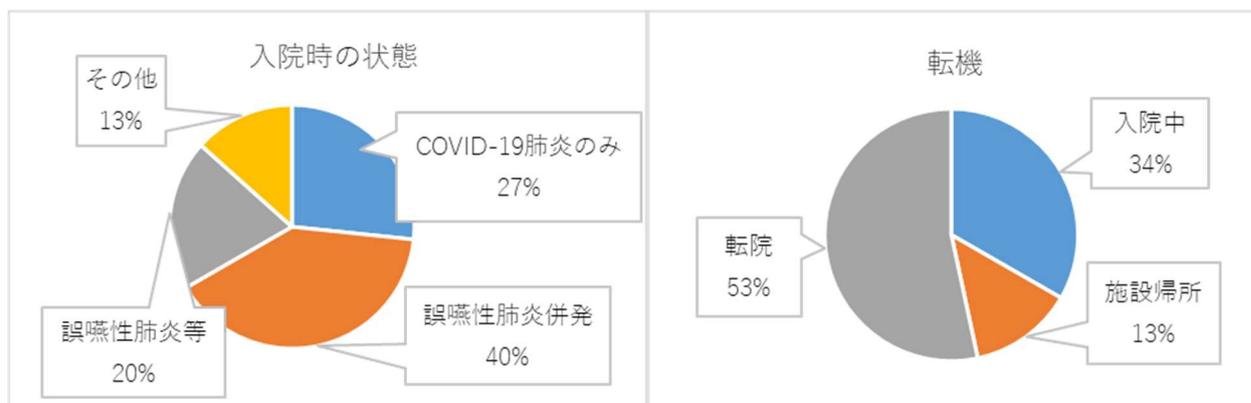
診断された人のうち、死亡した割合 (%)

年代 (歳)	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-
2021年7~10月	0.00	0.00	0.00	0.06	0.08	0.42	0.86	2.35	6.21	11.97
2022年1~2月	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.03	0.29	1.23	3.67	6.21
2022年3~4月	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.10	0.94	2.67	4.05
2022年5~6月	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.08	0.22	1.07	2.51
2022年7~8月	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.07	0.34	1.27	2.60



出典：厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）（2023年4月版）
新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識

第8波における新型コロナウイルス感染症で医療機関に入院した施設利用者



出典：オホーツク圏域中核病院入院患者（2022年10月25日～11月21日：67名）
2023年3月3日感染症予防研修会「新型コロナ感染症への対応、最新の支援方針、そして出口への道標」資料

(2) 基本的な考え方

感染症対策を行うためには、平常時から標準予防策を身につけておくことが重要です。

新型コロナウイルスの特徴や感染経路が判明するにあたって、必要とされる予防策は変わっていきました。しかし、標準予防策を理解しないまま感染を怖れるあまり、やみくもに隔離をし、必要以上の防護具を着用し、利用者、職員が疲弊する事態が多くみられました。

感染拡大を防ぐため、対策をとることは重要です。

しかし、感染拡大は生命・福祉を脅かすリスクの1つにすぎず、総合的なリスクの低減を図ることが重要です。感染拡大防止に努めるあまりに肝心の療養者の生活や生命が保持できなくては意味がありません。施設・医療機関自体の事業を中止、制限したり、介護サービスの利用を中止したりすることは必須ではありません。ADL低下や生活不活による病気の予防を考慮し、施設ごとで自施設の状況をみながら、事業の継続等を判断してください。

(3) 目標

高齢者施設で働く皆さんの目標は「利用者・利用者の生命、福祉（生活）を守る」ことであると考えます。

この目標を達成すべく、利用者・利用者のADLを落とさない中で、可能な感染管理が実施できるかたちを考えていきましょう。